

特定非営利活動法人 地盤・地下水環境 NET

会 報

第 20 号 (2025 年 6 月)

目 次 (contents)

・ 2024 年度(令和 6 年度)事業報告書	1
・ 事 業： 帯水層蓄熱ポテンシャルマップ(9 地域)作成	7
・ 出前授業： 奈良市立富雄中学校第 1 学年全クラス わが国の都市地盤の特徴	7
・ 令和 6 年度会計報告	9
・ 会員動向	10
・ 事業実績	10
・ 御願い	10

2024 年度(令和 6 年度)事業報告書

I 事業期間

2024 年(令和 6 年) 4 月 1 日 ～ 2025 年(令和 7 年) 3 月 31 日

II 事業の成果

中学校において出前授業を 1 回(2 日間)行い、大空小学校における井戸システムを検討中である。

2024 年 7 月 1 日～2025 年 2 月 28 日は「帯水層蓄熱ポテンシャルマップ(9 地域)作成」を行い、引続き 1 地域において帯水層蓄熱ポテンシャルを検討している。

上記のように子供たちに地下水・地表水の挙動に対する知識を普及すると共に、科学技術の振興を図る活動を行っている。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 検討書の作成

【内 容】帯水層蓄熱ポテンシャルマップ(9 地域)作成

【実施場所】-

【実施日時】2024(令和 6 年)年 7 月 1 日～2025 年(令和 7 年)2 月 28 日

【事業の対象者】企業

【収 入】998,059 円

【支 出】698,641 円

(2) 出前授業

【内 容】地震の特徴、液状化の被害、地盤を構成する砂の特徴

【実施場所】奈良市立富雄中学校

【実施日時】2025 年(令和 7 年) 3 月 5 日(水)および 6 日(木)

【事業の対象者】奈良市立富雄中学校 第 1 学年の全クラス

【収 入】0 円

【支 出】20,000 円

(3) 各種情報提供サービスに関する事業

【内 容】 広報活動(会報、ホームページ)

【実施日時】 通年

【事業の対象者】 会員、一般市民

【収 入】 0 円

【支 出】 30,000 円

IV 総会の開催状況

総会の開催状況

(1) 名称：令和6年度通常総会

日時：2024年(令和6年)4月27日(土) 10:00～11:30

場所：大阪公立大学文化交流センター 小セミナー室

出席者数：16名（委任状出席者9名含む）

議案内容：第1号議案 2023年度(令和5年度)事業報告

2023年度(令和5年度)に実施した事業について報告を行い、本案は可決された。

第2号議案 2023年度(令和5年度)の財産目録、貸借対照表、収支計算書報告

2023年度(令和5年度)の財産目録、貸借対照表、収支計算書報告を示し説明した上で承認された。

第3号議案 役員任期満了につき改選の件

理事全員が任期満了につきその改選を議場に諮ったところ次のものが理事と監事に選任され、被選任者はいずれもその就任を承諾した。

理事 中川 康一 (重任)

理事 戟 忠希 (重任)

理事 山本 勇 (重任)

理事 保居 優加子 (重任)

理事 三田村 宗樹 (重任)

理事 柴山 元彦 (重任)

理事 中島 載雄 (重任)

理事 長谷川 俊樹 (重任)

理事 多田 和夫 (重任)

監事 吉田 光臣 (重任)

第4号議案 2024年度(令和6年度)事業計画

2024年度(令和6年度)の事業計画について報告し、その内容と共に、事前に理事会で議論された議案も加えて承認された。

第5号議案 その他

中川理事長より川崎地質株式会社が賛助会員となり、サンコーコンサルタント株式会社が検討中である旨の報告があった。

戟専務理事より三田村理事を副理事長に推薦す

る旨の提案があり、本人の承諾を得た。全員異議なくこれを承認し、本提案は可決された。

三田村理事より大阪公立大学が出版した「コミュニティ防災 人材育成プログラム入門」の内容説明があり、fema(連邦緊急事態管理庁)との関連性についても協議した。また、大空小学校生徒や一般市民を対象とした防災町歩きの実施例が示され、当 NPO が説明者として貢献できる可能性等についても説明があった。

三田村理事より令和 6 年度事業として行う「帯水層蓄熱ポテンシャルマップ」の内容および解析方法の説明と解析事例の紹介があり、今後の事業消化体制について検討していくことになった。

上記事項に対し、出席者全員がその内容を確認した。

第 6 号議案 議事録署名人の選任の件

議事録署名人について、鈴木会員と中島理事が議長より指名され、全員の承認を得た。

V 理事会の開催状況

(1) 名称：理事会

日時：2024年(令和6年)4月27日(土) 11:30～12:00

場所：大阪公立大学文化交流センター 小セミナー室

出席者数：9名(委任状出席者5名含む)

議案内容：第1号議案 理事長の選任について

令和6年3月30日の臨時理事会において、全員の一致により中川康一を理事長に選任しており、全員異議なくこれを承認して本件は可決された。

第2号議案 ジオ・カーニバルの参加について

昨年の令和5年11月4日(土)と5日(日)に大阪市立自然史博物館で第23回こどものためのジオ・カーニバルが開催され、その内容を中島理事より報告した。

なお、中川理事長より昨年度は日本応用地質学会関西支部が共催となったこと、予算の単年度化による手続き増大や主催する人員の更新難航等で昨年度が最後の開催になったこと、第23回までのノウハウを生かして今後同様の催事があれば積極的に参加することを報告した。

これら事項は全員異議なくこれを承認し、本件は可決された。

第3号議案 出前講座の開催

中学校対象1件の出前講座の開催について、中川理事長より令和5年度状況に関する説明があり、本年度も出前授業の要望があれば対応していく旨が報告された。

本案については全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第4号議案 浅層地下水利用の検討

浅層地下水利用について、中川理事長より大空小学校で行った既存井戸の揚水システム化の説明があり、浅層井戸を今後掘削して井戸システムを水平展開したい旨を報告した。TOTO 水環境基金への再申請は担当者の体調不良により、昨年度は見送った旨を

報告した。

山本副理事長より既存井戸の揚水システム化に要する材料費用の質問があり、中川理事長より 10 万円程度という回答があった。これを受けて山本副理事長から、低コストのシステム化として積極的に宣伝すべき等の提案があった。

三田村理事より大空小学校の PTA メンバー変更や生徒の進級・卒業を考慮し、「既存井戸の揚水システム化の方法や意義に関する再講習実施」に関する提案があった。

これらの意見・提案を受け、浅層地下水利用ワーキンググループは今後も説明用リーフ等の充実を含めて活動を継続することになった。

これらの事項は全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第 5 号議案 議事録署名人の選任の件について

議事録署名人について、議長から本日出席の中川理事長と山本副理事長の 2 名を指名したところ、全員異議なく承認し、本案は可決された。

第 6 号議案 その他

山本副理事長より一般社団法人等に移行するメリットについて説明があり、今後の検討項目となった。

山本副理事長より理事の刷新を図る必要性を考慮した定年制採用等の案が示され、今後の検討項目となった。

事業：検討書の作成

帯水層蓄熱ポテンシャルマップ(9地域)作成

日 時： 2024(令和6年)年7月1日～2025年(令和7年)2月28日

場 所： -

参加者： 三田村宗樹大阪公立大学名誉教授

帯水層蓄熱ポテンシャルマップの内容は既存文献による地下地質状況と帯水層の特性、地下水の流向や地下水位変化、さらに地下水揚水規制等の事例整理です。

帯水層蓄熱システムに適合する地下水は水温変化が小さく低流動性で、日量1000トン程度以上の揚水量が可能な状況です。また、地盤沈下を起こさないような地盤構成であること、還水時に空気中の酸素を取り込まないような工夫も重要な点となっています。

なお、大阪市では次ページのように「マップナビおおさか」に帯水層蓄熱ポテンシャルマップを公開しています。

当NPOではこのような地下水開発に関する検討業務を行っています。

出前授業：奈良市立富雄中学校第1学年特別授業

地震の特徴、液状化の被害、地盤を構成する砂の特徴

奈良市立富雄中学校で行う出前授業は、平成27年に行って以来、今年で7回目になります。

日 時： 2025年(令和7年)3月5日(水)および6日(木)

奈良市立富雄中学校第1学年の全クラス

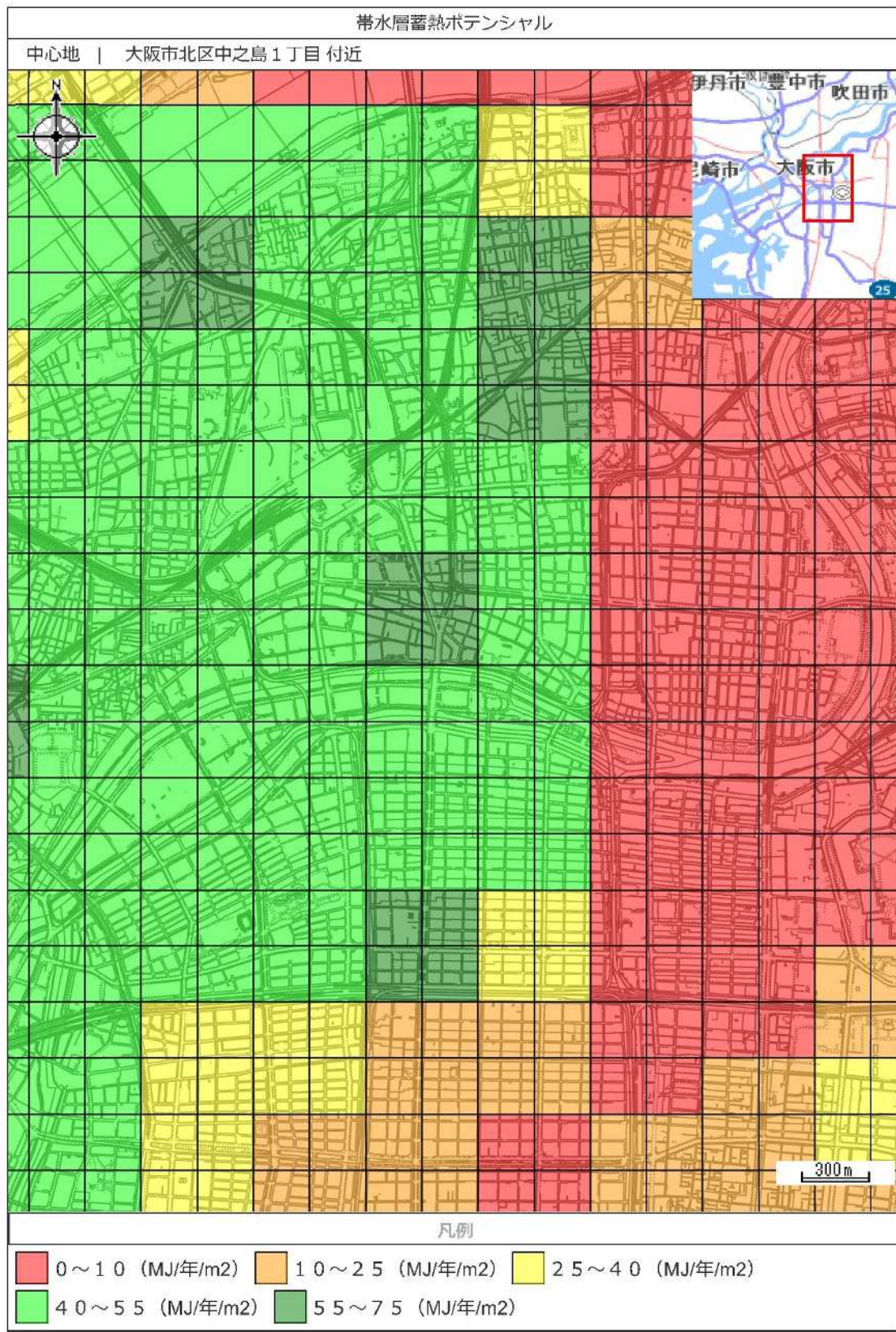
場 所： 奈良市立富雄中学校

講 師： 中川 康一 補助：中島 載雄、中島 祐子

実験装置： リクイファくん(液状化実験装置)

真空ポンプを用いた砂の強度増加実験装置

帯水層蓄熱ポテンシャルマップ [マップナビおおさか]



令和6年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支計算書

科 目	金 額		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
入会金収入	5,000		
正会員会費収入	45,000		
賛助会員会費収入	40,000	90,000	
2 事業収入			
コンサルタント・解析事業収入		0	
原稿料	998,059	998,059	
3 雑収入			
ジオカーニバル謝礼金	0		
受取利息	177	177	
経常収入合計			1,088,236
II 経常支出の部			
1 事業費			
通信費(サーバーレンタル代込み)	4,028		
事務用品費	0		
消耗品費	3,685		
会議費	6,000		
賃貸料	0		
支払手数料	2,310		
租税公課	0		
旅費交通費	3,280		
雑費	0		
雑給	0		
諸会費	0		
外注費	30,000		
支払報酬	647,310		
同支払源泉	71,331	767,944	
2 管理費			
給料手当	0		
同支払源泉	0	0	
経常支出合計			767,944
経常収支差額			320,292
III その他資金収入の部			
その他資金収入の部合計			0
IV その他資金支出の部			
その他資金支出の部合計			0
当期収支差額			320,292
前期繰越収支差額			355,727
次期繰越収支差額			676,019
(正味財産増減の部)			
V 正味財産増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額		320,292	
2 負債減少額		0	
増加額合計			320,292
VI 正味財産減少の部			
1 資産減少額		0	
2 負債増加		0	
減少額合計			0
当期正味財産増加額			320,292
前期繰越正味財産額			355,727
当期正味財産合計			676,019

会員動向

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

正 会 員 : 15 名

賛助会員 :

中央開発 株式会社

川崎地質 株式会社

株式会社 東京ソイルリサーチ

事業実績

事業実績一覧表(件数)

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
土壌汚染の意見書作成等	2	3	1	2		1	2		1
地下水解析			1		1				
地質解析			1						
地下水開発コンサルタント			1						
ビオトープコンサルタント				1	1				
その他					1			1	
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
土壌汚染の意見書作成等					1				
地下水解析									
地質解析									
地下水開発コンサルタント									1
ビオトープコンサルタント									
その他									

お願い

地盤・地下水環境 NET では、趣旨に賛同いただける会員を募集しております。お知り合いの方に、是非お知らせください。

なお、入会方法は、下記にお問い合わせください。

電話 072-235-3555

[地盤・地下水環境 NET \(jck-net.org\)](http://jck-net.org)

特定非営利活動法人 地盤・地下水環境 NET